



おだわらスマートシティプロジェクト会報

特集1 通常総会

令和3年7月28日（水）に令和3年度おだわらスマートシティプロジェクト通常総会を開催しました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、小田原市役所会議室でのリアル会議とオンライン会議を併用したハイブリット方式で開催し、令和2年度の事業報告・収支決算及び令和3年度の事業計画・収支予算が承認されました。

また、おだわらスマートシティプロジェクトとしての活動が10年目を迎えたことから、本会の目的等今後の方向性を検討するためのタスクフォースを設置することが承認され、西山会長、大島・曾我・原各副会長、松葉口理事、鈴木監事がメンバーに選任されました。（詳細は“特集4”へ）

特集2 会員アンケートの実施

平成10年に設立した「小田原市低公害車普及促進会議」は、“青く澄んだ空をこどもたちにバトンタッチしよう”を合言葉に、平成24年に「おだわらスマートシティプロジェクト」として生まれ変わり、平成30年には設立20年を迎えました。

また、本会は、これまで広域的な展開も視野に入れ、再生可能エネルギーの普及促進、省エネルギーの推進やエコカーの普及推進を中心に研究し、提案・実践することで、小田原市をスマートシティとすることを目指して活動してきました。

そして、このことは小田原市が令和3年3月に策定した「2030ロードマップ」が目指す、「世界が憧れるまち“小田原”」の基本的な考え方としております、「豊かな環境の継承」を土台に「生活の質の向上」と「地域経済の好循環」の両輪を持続的に回していくことと合致しています。

しかし、本会の目的である【「青く澄んだ空をこどもたちにバトンタッチしよう」を合言葉に、環境・エネルギー分野における持続可能なまちづくりに資する諸事業を行い、小田原市をスマートシティにすること】の実現に向けた成果を出すためには、会員の皆様をはじめとした様々なステークホルダーとのさらなる連携とともに、具体的な取組が必要となってきました。

そこで、役員で協議した結果、アンケートにより今までの本会の取組の評価や今後取組んでいきたいことなど会員の皆様のご意見を伺った上で、本会の今後のあり方を検討していくことといたしました。

実施期間：令和3年4月から5月

回答数：17会員（全69会員）

主な質問と回答

- ①継続すべき事業は？…絵画・ポスターコンクール、出前講座・体験学習など
- ②興味や関心のある環境分野は？…エネルギー、脱炭素、地球温暖化・気候変動など
- ③本会のあり方や具体的な取組は？…継続すべきテーマの絞り込みが必要、本会与SDGsとの関係が不明確など

※アンケート結果の詳細は令和3年7月の通常総会の資料として会員の皆様にお送りしています。



絵画・ポスター、アイデアコンクール



県西地域2市8町に在住・在学する小・中学生を対象とした「第10回絵画・ポスター・アイデアコンクール」を開催しました。テーマは、「COOL CHOICE」などによってエネルギーが賢く使われ、地球にやさしい生活が送られる「地球にやさしいまち」です。

小学生の部67点、中学生の部528点、合計595点(過去最多)の応募作品の中から、特に素晴らしい32点が入賞、6点が佳作に選ばれました。アイデア部門への応募はありませんでした。

令和3年11月3日(水・祝)に表彰式を実施し、11月2日(火)から8日(月)まではダイナシティウエストで、11月9日(火)から18日(木)までは小田原市役所2階市民ロビーで入選作品の展示を行いました。

📍 全ての入選作品は小田原市公式サイトで見ることができます。

https://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/envi/environ/smart-city/eco-contest/postercontest_r3.html

※会長賞、小田原市長賞、クールチョイス賞、SDG s 特別賞のほか、会員企業に御協賛いただき協賛企業賞(順不同)を設けました。

(小田原ガス株式会社賞、小田原報徳自動車株式会社賞、さがみ信用金庫賞、鈴鹿かまぼこ賞、ダイナシティ賞、ほうとくエネルギー株式会社賞、株式会社ミクニ賞、株式会社小田原百貨店賞、株式会社二見賞、トヨタモビリティ神奈川小田原店賞、株式会社REXEV賞、F M小田原株式会社賞)

主な入選作品の紹介



おだわらスマートシティプロジェクト会長賞
豊川小学校 4年 田中千穂さん



小田原市長賞
町田小学校 4年 小宮陽樹さん



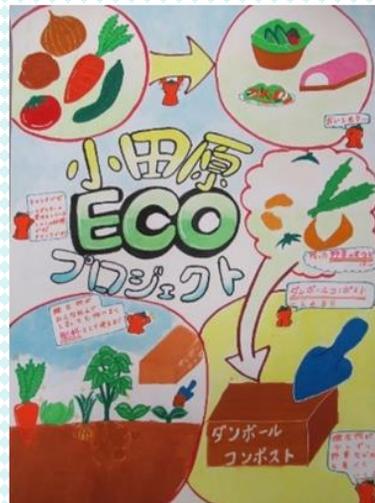
クールチョイス賞
函嶺百合学園小学校 6年 高野彩さん



SDG s 特別賞
国府津小学校 6年 堀越すみれさん



おだわらスマートシティプロジェクト会長賞
鴨宮中学校 3年 田中颯人さん



小田原市長賞
鴨宮中学校3年 山本怜奈さん



クールチョイス賞
城南中学校 2年 國廣百香さん



SDGs 特別賞
城南中学校 2年 中村嘉寿さん

特集4

今後の方向性検討タスクフォース

本会はバージョン1としてのエコカープロジェクトからスタートし、バージョン2ではスマートシティプロジェクトとして小田原をスマートシティにすることを目的に掲げて活動してきました。

今回の方向性検討は、地球規模のテーマである脱炭素（カーボンニュートラル）に向け、市民の行動変容のためのアクションを具体的に実践・提言できるような体制づくり、いわゆるバージョン3を目指すもので、新たな本会の目的や事業についての検討を重ねました。

いずれの会議も新型コロナウイルス感染症対策の観点から、リアル会議とZoomを併用したハイブリッド方式を採用しました。

第1回タスクフォース会議

開催日：令和3年12月24日（金）

議 題：会員アンケート及び通常総会での意見について、本会の今後の目標及び事業について

第2回タスクフォース会議

開催日：令和4年1月27日（木）

議 題：今後の具体的な事業について

第3回タスクフォース会議

開催日：令和4年3月14日（月）

議 題：本会の目的について、今後の具体的な事業の絞り込みについて、本会の名称について



おだわらスマートシティフェア

令和3年11月、ダイナシティウエストで「令和3年度おだわらスマートシティフェア～青く澄んだ空を子どもたちにボタンタッチしよう～」を開催しました。

今回は、新型コロナウイルス感染症対策のためパネル展示を中心とし、11月3日(水・祝)に創・蓄・省エネ機器等を紹介するブース展示、エコカー展示等を実施しました。また、11月2日(火)から8日(月)に絵画・ポスターコンクールの入選作品を展示しました。

11月3日(水・祝)の内容

- ・エコカーの展示・試乗
- ・SDGs 体感事業等の展示
- ・獣害対策ロボット等の展示
- ・段ボールコンポストの実演
- ・会員企業等の取組の紹介
- ・絵画・ポスターコンクール表彰式

当日の様子



コンクール入選作品の展示



エコカー (EV・HV) の展示・試乗



獣害対策ロボット等の展示



パネル展示や動画放映による会員企業の活動紹介ブース



絵画・ポスターコンクール表彰式



会員一覧 (令和4年3月1日時点 敬称略、順不同)

愛光電気 株式会社
 相原興業 株式会社
 株式会社 小田原衛生美化サービス
 小田原ガス 株式会社
 株式会社 小田原ジムキ
 小田原箱根商工会議所
 株式会社 小田原百貨店
 神奈川県タクシー協会 小田原支部
 かながわ西湘農業協同組合
 神奈川トヨタ自動車株式会社 小田原店
 共同冷蔵株式会社
 クミアイ化学工業株式会社 小田原事業所
 さがみ信用金庫
 相模洋洗株式会社
 新陽冷熱工業株式会社
 株式会社 鈴鹿蒲鉾本店
 第一三共ケミカルファーマ株式会社 小田原工場
 株式会社 大相
 株式会社 ダイドーフワード

有限会社 谷和
 株式会社 東海ビルメンテナンス
 日産自動車株式会社
 株式会社 ファーレン小田原
 株式会社 ミクニ
 株式会社 GSユアサ
 株式会社 カトー
 南關工業株式会社
 株式会社 ニッショー
 株式会社 二見
 司建設株式会社
 ヒューマンズ・ネット株式会社
 株式会社 小田原魚市場
 ほうとくエネルギー株式会社
 レモンガス株式会社
 積水ハウス株式会社湘南支店
 株式会社 T-FORESTRY
 松浦建設株式会社
 株式会社 エスアールシー

譲原建設株式会社
 一般社団法人 小田原市電設協会
 有限会社 小田原ドライビングスクール
 株式会社 ブレイン・スタッフ
 株式会社 古川
 有限会社 スドウ工管
 有限会社 みのさんファーム
 湘南電力株式会社
 箱根登山バス株式会社
 株式会社 REXEV
 F M小田原株式会社
 花王グループカスタマーマーケティング株式会社
 ※令和3年度入会

| | | |
|-------|--------|--------|
| 石川 芳雄 | 西山 敏樹 | 松塚口 玲子 |
| 太田 正孝 | 西山 里利 | 飯田 智夏 |
| 片山 勝 | 清海 哲男 | 向 正孝 |
| 古屋 稔彦 | 香川 興勝 | 向 ますみ |
| 八木 武人 | 津端 宏嘉 | 大島 啓介 |
| 山田 建夫 | 神戸 さえ | |
| 額 清徳 | 三 嶽 知美 | |

◆発行日 令和4年3月31日

◆発行者 おだわらスマートシティプロジェクト会長 西山敏樹 (事務局 小田原市 環境政策課)

◆電 話 0465-33-1472 ◆FAX 0465-33-1487 ◆E-mail ka-kansei@city.odawara.kanagawa.jp